

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)

【公開番号】特開 2011-1622 (P2011-1622A)

【公開日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-001

【出願番号】特願 2009-147250 (P2009-147250)

【国際特許分類】

C 2 2 C 9/00 (2006.01)

C 2 2 C 9/05 (2006.01)

C 2 2 C 9/06 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 9/00

C 2 2 C 9/05

C 2 2 C 9/06

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 25 日 (2011.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

銅 (C u) 及び不可避的不純物と、

前記銅に固溶する第 1 の添加元素である銀 (A g) と、

前記銅に含まれ、前記不可避的不純物との間で化合物を形成し、前記第 1 の添加元素とは異なる第 2 の添加元素とを含み、かつ、

前記第 1 の添加元素である銀 (A g) は 0 . 0 0 5 重量 % 以上 0 . 0 5 重量 % 以下含むことを特徴とする圧延銅箔。

【請求項 2】

0 . 0 0 2 重量 % 以下の酸素を更に含む請求項 1 に記載の圧延銅箔。

【請求項 3】

前記第 2 の添加元素は、0 . 0 0 1 重量 % 以上 0 . 0 9 重量 % 以下のホウ素 (B) である請求項 1 又は 2 に記載の圧延銅箔。

【請求項 4】

前記第 2 の添加元素は、ニオブ (N b)、チタン (T i)、ニッケル (N i)、ジルコニウム (Z r)、バナジウム (V)、マンガン (M n)、ハフニウム (H f)、タンタル (T a)、及びカルシウム (C a) から 1 つ選択される元素であり、0 . 0 0 1 重量 % 以上 0 . 0 9 重量 % 以下含まれる請求項 2 に記載の圧延銅箔。

【請求項 5】

前記第 2 の添加元素は、ホウ素 (B)、ニオブ (N b)、チタン (T i)、ニッケル (N i)、ジルコニウム (Z r)、バナジウム (V)、マンガン (M n)、ハフニウム (H f)、タンタル (T a)、及びカルシウム (C a) から選択される複数の元素であり、総量で 0 . 0 0 1 重量 % 以上 0 . 0 9 重量 % 以下含まれる請求項 2 に記載の圧延銅箔。

【請求項 6】

圧延面を基準にした X 線回折を用いた極点図測定により得られる結果において、前記極点図測定の  $\theta = 90^\circ$  における走査による銅結晶の  $\{022\}_{Cu}$  面回折ピークの平均強

度  $[a]$  と  $\theta = 30^\circ$  における 走査による前記  $\{022\}_{Cu}$  面回折ピークの平均強度  $[b]$  との比  $[a]/[b]$  が、 $[a]/[b] \geq 3$  である結晶粒配向状態を有する請求項 2 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の圧延銅箔。

【請求項 7】

20  $\mu m$  以下の厚さを有する請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の圧延銅箔。